

種別別明細書（増加資産・全資産用）の記入例

資産の名称等
該当資産の名称等を資産の種類順に記入してください。

耐用年数
原則として、法人税または
所得税の申告で用いるもの
と同じ耐用年数を記入して
ください。

増加事由
該当する番号を○で囲んでください。
1 = 新品取得
2 = 中古取得
3 = 移動による受入れ
4 = その他

令和 9 年度		種類別明細書(増加資産・全資産用)								所有者名 株式会社 ○○○○						1	枚のうち
※所有者コード		※年号：昭和=3、平成=4、令和=5														1	枚目
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額 (単位：円)	(イ)耐用年数	(ロ)残存率	(ハ)価額	※課税標準の特例		※課税標準額	増加事由	摘要	
					年号	年	月					率	コード				
01	2		コンプレッサー	2	5	4	2	800,000	3						①・2 3・4		
02	1		コンクリート舗装	1	5	4	5	300,000	15						①・2 3・4		
03	6		パソコン	1	5	4	10	400,000	4						①・2 3・4		
04															1・2 3・4		
05															1・2 3・4		
06															1・2 3・4		
07															1・2 3・4		
08															1・2 3・4		
09															1・2 3・4		
10															1・2 3・4		
11															1・2 3・4		
12															1・2 3・4		
13															1・2 3・4		
14															1・2 3・4		
15															1・2 3・4		
16															1・2 3・4		
17															1・2 3・4		
18															1・2 3・4		
19															1・2 3・4		
20															1・2 3・4		
小計								1,500,000									

令和 9 年度

※所有者コード

記入不要

※年号：昭和=3、平成=4、令和=5

所有者名

株式会社 ○○○○

資産の種類

資産コード

記入不要

資産の名称等

取得年月

年号 年 月

取得価額

(単位：円)

(イ)耐用年数

(ロ)残存率

(ハ)価額

※課税標準の特例

率 コード

※課税標準額

増加事由

摘要

年号

次の数字でご記入ください。

1 = 明治

2 = 大正

3 = 昭和

4 = 平成

5 = 令和

取得価格

資産を取得するために支出した金額又は支出すべき金額（付帯費用を含む）を記入してください。

記入不要

ただし、自社電算（電算処理）による申告を行う場合は、記入してください。

摘要欄

項目を記す場合、

- 非課税の特例の適用を受けていること。
- 他の受取動産と異なること。
- その要な事項。

「増加事由」の欄は、1 新品取得、2 中古取得、3 移動による受入れ、4 その他のいずれかに○印を付けてください。

資産の種類
次の数字でご記入ください。

- 1 = 構造物
- 2 = 機械及び装置
- 3 = 船舶
- 4 = 航空機
- 5 = 車両及び運搬具
- 6 = 工具、器具及び備品

年号
次の数字でご記入ください。
1 = 明治
2 = 大正
3 = 昭和
4 = 平成
5 = 令和

取得価格
資産を取得するために支出した金額又は支出すべき金額（付帯費用を含む）を記入してください。

記入不要
ただし、自社電算（電算処理）
による申告を行う場合は、記入
してください。

摘要欄には、次のような事項を記入してください。

- 1.非課税または課税標準の特例の適用がある資産について、その適用内容
- 2.他の市町村から移動等により受入れた資産について、異動年月
- 3.その他、価額の決定に必要な事項